

セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和2年4月30日

施設名 アブロス沼ノ端スポーツセンター

指定管理者名 都市総合開発株式会社・シンコースポーツ北海道株式会社コンソーシアム

所管課名 スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己 評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	大きな事故、トラブル等が無く運営することが出来ました。コロナウィルスによる影響により臨時休館があった中、施設利用者数は増加することができました。また、利用者アンケートでも高い評価を頂くことが出来ました。	A
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	令和元年度の施設利用者数は167,507人でした。トレーニング室のリニューアルや運動処方導入などにより一般利用者を多く獲得することができました。また、施設の有効活用として、団体への専用貸切誘致を強化したことも利用者増へ好影響を与えております。 歴代最多となる利用者数となったことは、高く評価出来るものだと自負しております。	A
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	令和元年度事業計画で予定していた自主事業を計画的に開講しました。また、成人向けフロア講座を新たに導入し、大きな成果を残すことができました。その他、体育の日やクリスマス、祝祭日には特別イベントを開催し、運動の提案や施設のPRにも力を注いでおります。 乳児から高齢者まで幅広い年代で、自主事業受講のために施設利用する方も多くなっており、積極的な自主事業の開催が利用者の獲得にも大きな役割を担っております。	A
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	近隣の小中学校や町内会、水泳関係団体の代表者で構成される利用者協議会を企画いたしました。(コロナウィルスの影響により中止) 新栄公園で開催された催事には、施設の一部を控室等として貸出協力もしております。また、苫小牧水泳協会とも連携し、水泳競技会や泳力検定会の参加者が増えるように声かけもしております。さらに、障がい者団体(ほっかいどうタンポポ)、苫小牧市消防本部の水難救助訓練に協力、中学生の職業体験も複数名受け入れております。	A

2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	利用者アンケートの調査結果から、やや満足以上の回答を95%達成し、高い評価を頂くことができました。	A
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設内にご意見・ご要望カードを設置し、館内放送で積極的に案内しております。投函された意見要望については館長が回答後、施設内に掲示しております。	B
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者から寄せられた意見・要望・苦情はすべての項目に館長が回答しております。 重要な項目については総合政策部スポーツ都市推進課に報告・連絡・相談し適切な対応を協議致しました。また、利便性向上に繋がる内容につきましては迅速に対応いたしました。過去の意見・要望・苦情内容はファイリングし、いつでも閲覧可能としております。	B
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	電気料や熱量、水道料を節約の為、必要のないものは削減し、使用可能なものは再利用しております。また、受付での入場手続きをタブレット端末に変更したことで紙の使用を減らしました。 更に、今後に向けて施設のLED化を視野に、調査・準備も行っております。	A
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	苫小牧市内に事業所がある信用ある企業を選定しております。また、経費が削減できるよう、見積りは複数社に依頼し、決定した業者とは十分な協議も行っております。	A
収入増加のための取組はされているか。	新規利用者の獲得の為、広報やホームページ、新聞紙面等による施設の案内、SNSを使用しPRをしております。また、年齢を問わず幅広い参加者の確保の為に様々な運動プログラムの提案や、運動処方機器の導入、体組成計、運動機器の充実にも力を注ぎました。	A
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	管理・運営に不安のない適正な人員を配置しております。利用者数の増加により仕事量も増加しますが、職員を多く雇用し対応しております。	B
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	消防訓練はもちろん、AED講習や溺者想定救助訓練を実施しております。また、職員の個々の能力向上に向けた個別指導、外部講習会への参加や他施設への視察も積極的に行っております。	A
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか。	子どもから高齢者、障がい者まですべての市民が安心して快適に施設利用できるように十分配慮しております。また、使用料	A

いるか（使用料の減免、還付含む。）。	の減免についても、沼ノ端スポーツセンター条例・規則に則り対応しております。	
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上知り得た情報は、個人情報保護の観点から書類等は社外から持ち出さず、鍵のかかる書庫に保管しております。また、不要な書類はシュレッダー処理を徹底しております。	A
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収支について適正に処理し計上しております。	A
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検について、必要な全ての項目を終了しております。また、法定点検以外にも必要と思われる内容については独自で保守点検・定期点検を実施しております。	A
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	重要な書類は鍵のかかる書庫に保管しております。備品の管理についても、修繕の必要なものは速やかに対応し、購入や廃棄の手続きも適切に行っております。	A
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	消防訓練や AED 講習、溺者想定訓練に実施により、職員は危機管理に関する知識を深めております。事故防止の為、施設案内により注意を促しております。また、危険な場所には踏み台やクッション材等も設置しております。	A
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法令・協定書・沼ノ端スポーツセンター条例・沼ノ端スポーツセンター規則を順守し管理運営をしております。施設の持つ役割を十分理解して運営しております。	A
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	職員は地元の雇用を優先しております。資源調達や委託業者は苦小牧の業者を優先に考えて選定しております。また、中学校と連携し職業体験の受け入れを実施しております。 さらに、近隣の小中高校生の同好会活動に名刺広告としての協力や、自主事業経費による雇用人数拡大など、雇用による貢献もしております。	A

A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

令和元年度の管理運営に当たり、事業計画書を基に基本協定書や沼ノ端スポーツセンター条例、規則を順守致しました。また、スポーツ都市推進課や各関係機関と適切に連携できたことで、大きなトラブルや事故を起こすことなく管理運営することができました。

2月のコロナウィルス緊急事態宣言による臨時休館時には、不測の事態ではありましたが関係機関との連携・利用者に向けた連絡対応が速やかに取れたと自負しております。

長期間の臨時休館期間がありましたが、過去最高の利用者数を獲得できた事は、少しずつ『地域に根差した運営』や『魅力のある施設づくり』が地域の皆様に受け入れていただけた表れなのではないかと実感しております。

令和2年4月より2年目の管理期間となります。初年度にいただいた利用者からの様々な意見や要望を活かし、利用者のために指定管理者ができることは限られておりますが、更に市民皆様に喜んで頂ける取り組みに尽力し、施設運営を通して、周辺地域や市民の元気・活力の一端を担う事ができるよう努力してまいります。